

(毎月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日十回發行)

縣報

第六百二十一號

明治卅九年十二月十二日 和歌山縣

○公文

○和歌山縣令第六十八號

本年十月縣令第五十九號屠場法施行細則中第二條ヲ左ノ通り改正ス

明治三十九年十二月七日

和歌山縣和事 伯爵 清 榎 家 敷

第二條 前條ノ許可ヲ受ケタルモノト雖モ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ許可ヲ取消スコト
アルヘシ

一 三ヶ月以内ニ工事ニ着手セサルトキ

二 正當ノ理由ナクシテ落成期日ヲ經過シタルトキ

三 休業三ヶ月以上ニ及ヒタルトキ

○和歌山縣訓令第五十號

郡 役 所
市 役 所
町 村 役 場

明治三十七八年戰役ニ關スル行賞賜金ノ五拾圓以上ハ特別証券ヲ以テ下賜シ尙之ヲ郵便貯金管理
所ヲシテ保管セシメラル、ハ必竟各受賞者ヲシテ可成之ヲ其ノ名譽ト共ニ永遠ニ保持セシメント
スルニ外ナラザルモ亦各自ノ必要ニ際シテハ敢テ之ヲ強制スルノ趣旨ニ無之從テ特別証券保管通
帳ノ交付ヲ受ケタル者ニシテ其ノ公債証券ヲ賣却セントスルトキハ最近到着ノ逓信公報掲載相場
ヲ以テ賣却方ヲ最寄郵便局ニ請求セハ直チニ其ノ代金ノ交付ヲ受ケ得ルコト 本年八月大藏省令第
八年戰役行賞賜金ニ規定セラレアルニ拘ラス近來受賞者中態々一旦其ノ証券ノ交付ヲ請求シ私人
取扱規則第六條
間ニ於テ非常ノ低價ノ半額位ニ賣買ヲ爲ス者アル故ノ風聞之レアリ若シ果シテ事實ナラソニハ
獨リ本人ノ不利益ノミナラス延テ一般ノ經濟界ヲ紊亂スルニ至ランモ知ルヘカラス國家ノ經營上
決シテ等閑ニ附スヘカラザル事ニ有之而シテ事ノ茲ニ至ル所以ノモノハ各受賞者ガ其ノ手
悉セサルカ爲賣却ノ請求ヲナスモ容易ニ其ノ目的ヲ達スヘカラザルモノト誤解シ奸 徒
乘シテ奇利ヲ博セントシ百方誑詐ノ口舌ヲ弄シテ嗜着スルニ基クモノト察セラレ必賣却ヲ請求
スルモ現証券ノ交付ヲ請求スルモ其ノ手續及之レガ交付ヲ受ケタル迄ニ要スル日數ハ粗ホ同様ニシ
テ辨シ得ラル、次第ナレハ是等誤解ノ爲自他ノ不幸ニ陷ラザル權其ノ部内一般在郷兵ニ諭示シ以
テ行賞ノ目的ヲ充分發揮スヘキ機勢ムヘ

但シ逓信公報ハ時々變動アレトモ本年十月一日ヨリ十一月三十日迄ハ額面百圓ニ對シ九拾圓九
拾錢乃至九拾貳圓參拾錢ノ間ヲ上下セリ

明治三十九年十二月七日

和歌山縣知事 伯爵 清 棧 家 教

○和歌山縣告示第二百五十九號

左記ノ者本縣編制豫防吏員ヲ免セリ

明治三十九年十二月八日

和歌山縣知事 伯爵 清 榎家 敬

記

和田傳太郎

右解職ス

○村長ノ異動

西牟婁郡上芳養村長 平見五郎吉

石十二月七日認可ス

○觀測

明治三十九年十二月七日ヨリ三日間當地氣象概況

| 種 | 前 | 本 | 前 | 本 | 前 | 本 |
|---|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 月 | 十二月 | 十二月 | 十二月 | 十二月 | 十二月 | 十二月 |
| 日 | 七日 | 七日 | 八日 | 八日 | 九日 | 九日 |
| 年 | 年 | 年 | 年 | 年 | 年 | 年 |

縣報第六百二十一號 明治卅九年十二月十二日 第三種郵便物認可 三

| 項目 | 前年 | 本年 | 前日 | 本日 | 前日 | 本日 |
|------|---------------------|-----------------------------|---|---------------------|-------|---|
| 平均氣壓 | 七五四耗一 | 七六三耗六 | 七五三耗三 | 七六一耗四 | 七五六耗八 | 七五七耗〇 |
| 平均氣溫 | 一四度四 | 八度六 | 一五度〇 | 六度四 | 一三度一 | 八度一 |
| 最高氣溫 | 一七度三 | 一度四 | 一八度五 | 一度八 | 一六度七 | 一〇度二 |
| 最低氣溫 | 一一度六 | 二度七 | 一〇度七 | 一度一 | 八度〇 | 五度四 |
| 最多風向 | 東北東 | 北々東 | 北西 | 東北東 | 北西 | 西北西 |
| 平均風力 | 二米二 | 五米六 | 三米五 | 二米八 | 四米〇 | 七米六 |
| 天氣 | 曇又雨 | 晴 | 曇少雨 | 半晴 | 晴 | 曇又雨 |
| 雨雪量 | 七耗〇 | 一耗一 | 一耗六 | 二耗二 | 〇耗〇 | 四耗八 |
| 記事現象 | 時々降雨 夜間南東 ニ電光 | 夜間微雨 午前月環 ヲ映ス 強風吹ク | 早朝微雨 午前十時 海上風雨 夕暮戒ヲ 解除ス 午後〇時 | 午前結霜 夜間微雨 及電光 | 夜間微雨 | 終日時々 降雨及強 風吹ク 午前二時 海陸風雨 ノ警報到 |

